

研究講習事業報告

学発番号: 学22-006★(日臨技推進事業)
事業名: チーム医療研究班 2022年度 第1回R-CPC(症例検討会)
日時: 令和4年7月26日(火) 18:30~20:30
場所: 京都保健衛生専門学校【ハイブリッド開催】
主題1: R-CPC 検査結果から見えるもの～初級編～
症例提示者 横山 健輔 技師(京都桂病院)
パネリスト① 幸 菜摘 技師(吉祥院病院)
パネリスト② 奥津 真帆 技師(京都桂病院)
参加数: 総数:58名(京臨技会員:46名)
報告者: 齊藤 祐巳子(京都大学医学部附属病院)

以下、講演内容など

今年度のR-CPCは検査データのみから病態を読み解いていく方式としました。今回は「初級編」としてテーマを絞らずに3症例を準備し、2人のパネリストとともに読み解きました。参加者にも事前に検査データを配布してじっくり検査データを読み解く時間を設けました。パネリストは平素は生理検査をされていて検体検査のデータを読む機会が少ない技師歴2年目と5年目の技師でしたが、病態を読み解いていくプロセスは大変興味深く勉強になりました。実際の患者さんの臨床データなので教科書通りといかないデータもありましたが、合併症もなくシンプルな症例で、症例提示者からの解説も分かりやすかったです。ZOOMの投票機能を利用して視聴者の意見をリアルタイムに聞いたことも良かったと思います。

通常報告